

4 施 工

Q-50 フラットデッキを使ったコンクリートスラブにシート防水を施工した時、シート防水層がふくれることがある。何かよい対策はないか？

A

シート防水、塗膜防水、合成高分子系塗床などにおけるふくれ現象はフラットデッキだけではなく、一般的にデッキプレートを使用したスラブに共通に発生する問題です。

一般的に、デッキプレートで施工したスラブはコンクリート中の水分が抜けにくく乾燥しにくいので、工期にもよりますが養生期間を十分にとる必要があるといわれています。

コンクリートの水分率の測定には、市販の水分率測定器で行いますが、測定できる範囲はコンクリート表面より1～4cm程度が限界であり、それ以上の深さの測定については適切な方法がないのが現状です。

シート防水等をする場合、その施工時期および水分率等をシート防水業者等とよく打ち合わせの上、施工して下さい。

フラットデッキを使用したスラブの水分を抜くために、現場でフラットデッキフランジ面に450mmピッチ程度で4mm径程度の穴をあけて対応している現場もあります。しかしながら、どの程度の処置をすればどの程度水分率が低下するかについての実験データおよび現場測定データは残念ながらありません。また、フラットデッキに穴あけすると、モルタル等のノロが漏れてフラットデッキ面および下階を汚す恐れがありますので注意して下さい。

また、RC構造及びSRC構造の場合にはフラットデッキの梁のみ込み代をゼロとして、型枠存置期間後フラットデッキを取り外す方法もあります。

参考として、合成高分子ルーフィング工業会ホームページもご参照下さい。

<http://www.krkrroof.net/>